

漁港における快適な就労環境に資する施設整備手法 の開発

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-07-01
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 佐伯, 公康, 坪田, 幸雄
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2009501

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



漁港における快適な就労環境に資する施設整備手法の開発

水産土木工学部 漁港施設研究室 佐伯公康, 坪田幸雄

漁港は水産業の基地であり多くの漁労作業が行われていますが、就業者の高齢化や減少が進む中、安全、快適、利便性と言った漁港の働きやすさとしての質が問われています。本研究では、就労環境改善の観点から、漁港内作業の実態の特性を把握し、その労働負荷を分析した上で、漁業者の就労環境を向上させるための施設整備手法を開発します。

漁港で行われる作業は「陸揚げ」「仕分け」「漁具準備」に大別でき、それぞれ、漁港施設に求められる機能が異なります。そこでそれぞれの作業の評価項目を整理し、水産の作業の実態を見据えて、問題点の抽出と、定量的な評価手法の構築に努めています。

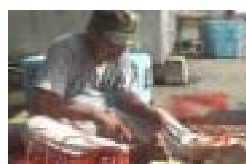
評価項目一覧と調査実施状況



陸揚げ作業



仕分け作業



漁具準備作業

評価項目 作業種類	・寒暑 風雪	・トイ シ	・夜間 照明	・作業 姿勢	・負荷 荷重	・事故 防止	・空間 広さ	・作業 動線
陸揚げ・積み込み								
仕分け・運搬								
漁具準備								

：15年度までに計測
またはアンケート実施

現場の意見

「隙間を吹き抜ける突風が寒い」
「手先、足元から冷える」

H15調査実施
温度・風速測定、
着衣量の調査

→ 既存指標によ
る環境評価



現場の意見

「夜間、港内が暗い」
「市場で魚の品質が見分けにくい」

H15調査実施
照度の測定、
光色の調査

→ 安全・作業能率
向上への提言



着衣量調査の結果(長崎漁港)

調査時期	8月		12月	
従事作業の区分	A(選別)	B(運搬)	A(選別)	B(運搬)
調査対象者数	7	13	23	21
clo値平均	0.57	0.47	1.30	1.43
手袋枚数	1.6	0.4	2.6	0.4
靴下枚数	2.3	1.0	2.5	1.2

clo値: 衣服の熱断絶能を表す値。(上の値は聞き取り調査と文献により推算した) ※clo値と枚数は一人当たりの平均。

岸壁の照度の時間変化(長崎)

